

新型コロナウイルス感染症に対する市の対応について

令和2年9月18日
伊丹市長 藤原保幸

国からのイベント人数規制の制限緩和を受け、兵庫県は9月19日から、クラシック音楽コンサートや演劇、演芸、式典等感染リスクの少ないイベント等については、収容率に対し100%以内の入場を可能とする緩和策を決定しました。但し、ロックコンサートやプロ野球などスポーツイベント等については、従来通り収容率は50%以内となりますが、従来あった5,000人の上限は撤廃されます。

市民の皆さまは、こういったイベントや公演への参加に際し、健康状況の確認や手洗い・マスク等といった「新しい生活様式」に加え、「大声を出さないこと」等更なる感染防止と共に、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」や「兵庫県新型コロナウイルス追跡システム」のご利用につきましてもご協力をお願いします。

今回の規制緩和措置によりまして、感染の再拡大や、集団感染「クラスター」の発生を懸念される方がいらっしゃるかもしれません。この目に見えないウイルスへの恐怖や不安は、人の心に差別や偏見を生じさせることがあります。最近においても、感染者や病院関係者等への差別や偏見、誹謗中傷等の言動がメディア等で報告されています。

差別や偏見、誹謗中傷など、人権侵害は決して許されるものではありません。

市民の皆様には、人を思いやり、助け合う心を忘れず、引き続き正しい情報・知識に基づいた行動をお願いします。

また、今冬に新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時期に流行する事態に備え、10月1日より、市内医療機関等でインフルエンザ予防接種を受けられる65歳以上の高齢者の費用の無償化を実施する予定です。重症化予防の為に、ご検討下さるようお願いいたします。

今後とも必要な感染症対策と支援策を打ち出してまいりますので、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。